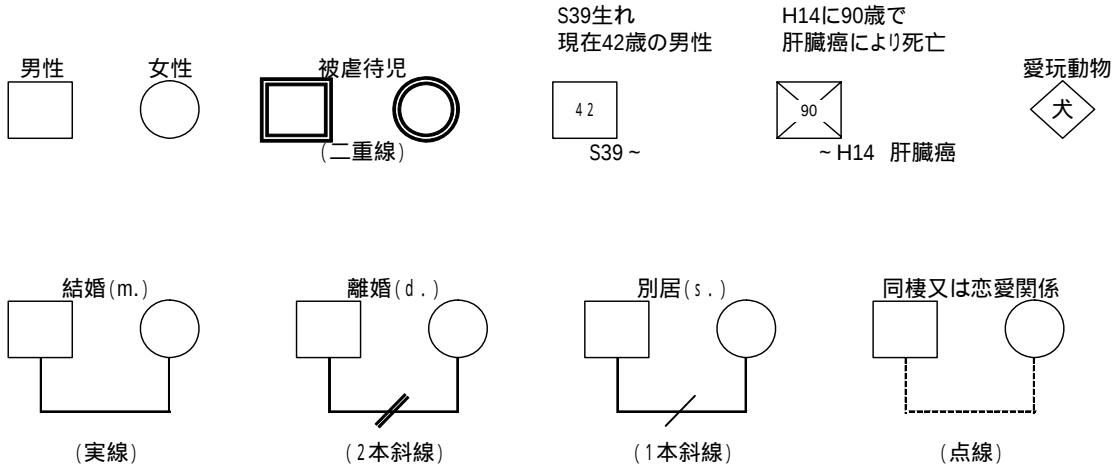


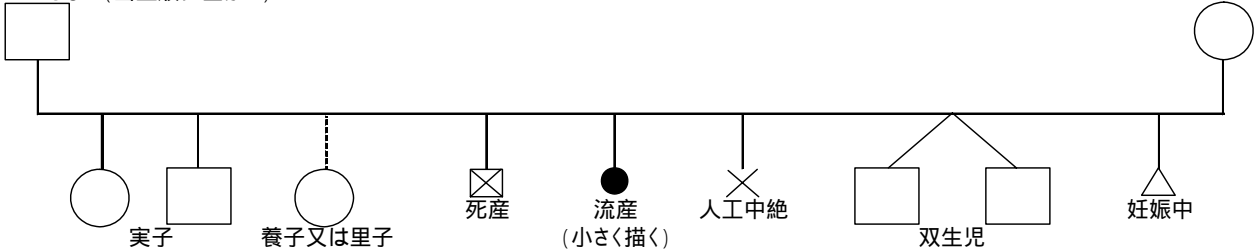
## ～用語の説明～

### ジェノグラム

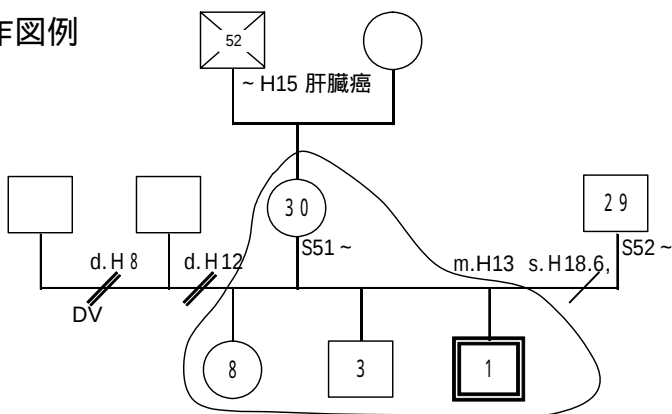
原則として3世代程をさかのぼる家族員(血縁ではなくとも同居したり、家族との関係が深い人を含む)の家系図を「ジェノグラム」と言う。虐待が起っている家庭は、家族構成等が複雑なことも少なくないが、ジェノグラムを作成すると家族関係が一目瞭然となり、問題を整理したり、家族の誰に働きかけたらよいか等の支援策を検討するのに役立つ。



子どもなど(出生順に左から)



### 作図例



### 標記の意味

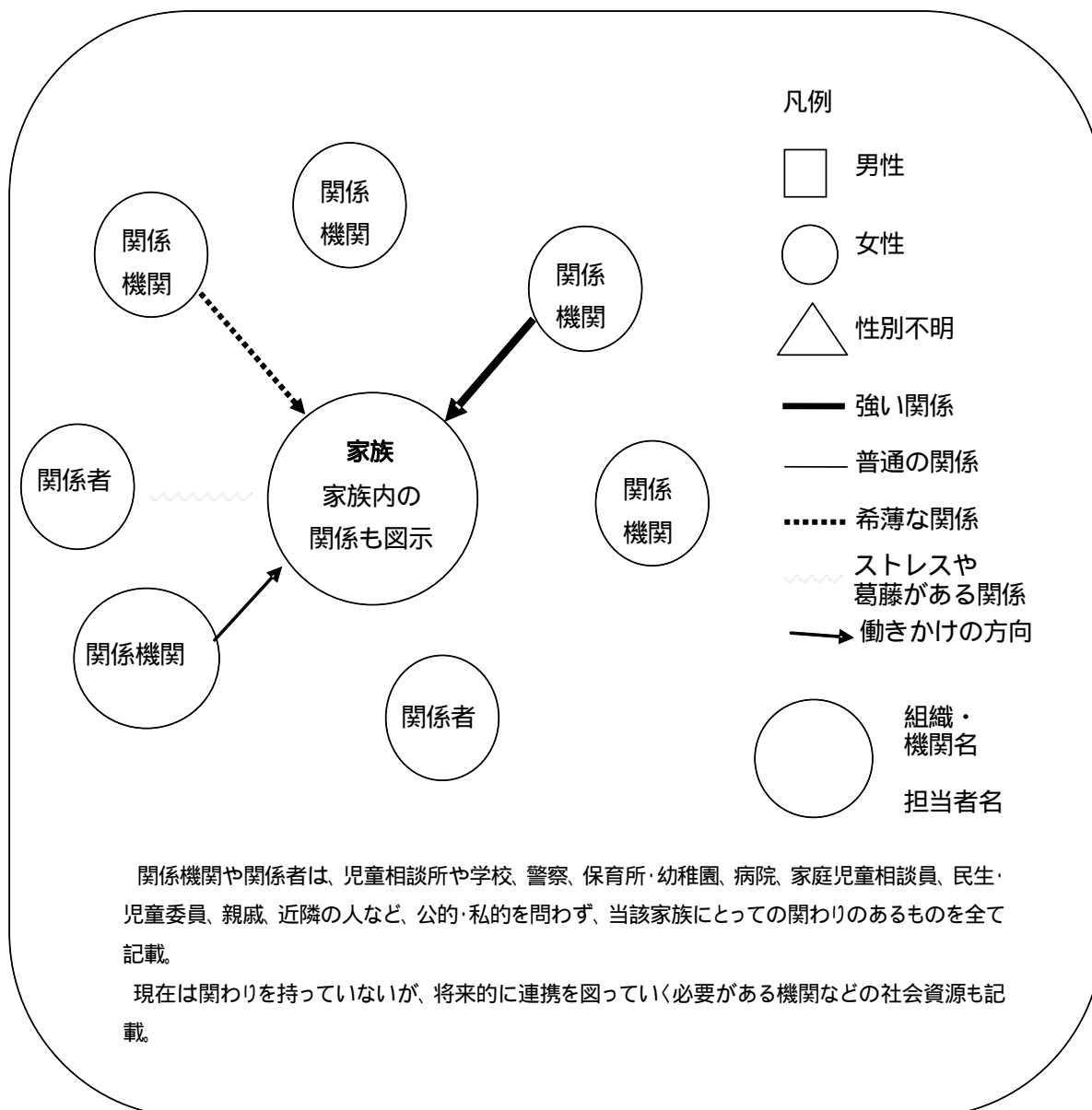
m.=marriage(結婚)  
s.=separation(別居)  
d.=divorce(離婚)  
LT.=Living Together(同居)

参考: 中村伸一「ジェノグラムの書き方最新フォーマット」2002年12月家族療法研究第19巻第3号57-60

## エコマップ

エコマップ(生態地図)は、支援を要する家族を中心として、その家族の問題や解決に関わると考えられる関係者や関係機関を記載したもの。

図式化することにより、全体の関係性を簡潔に把握することができ、各機関の役割を検討するうえでも有効である。適宜作成し、比較すると、支援の過程を通じた関係機関の関わりの変化を確認することができる。



## ケースマネジメント

ケースマネジメントとは、複数の機関が長期にわたって連携しながら援助を行う場合、常に最善の援助体制が確保されるよう事例の進捗状況を客観的に把握し、必要に応じて援助の実施体制や援助方法などについて調整(コーディネート)をおこなう活動である。子ども虐待においては複数の解決すべき問題を抱えている事例が多く、長期に援助を展開する必要があることから、このケースマネジメントの手法が適する事例が多い。

ケースマネジメントは、以下のプロセスを遂行しながら子どもや家族を支援していくことであり、このプロセスをマネジメントしていくのがケースマネージャーである。ケースマネージャーには、単一の機関とは限らずチームになる場合もある。児童

相談所や市町村担当部署あるいは要保護児童対策地域協議会などが想定される。

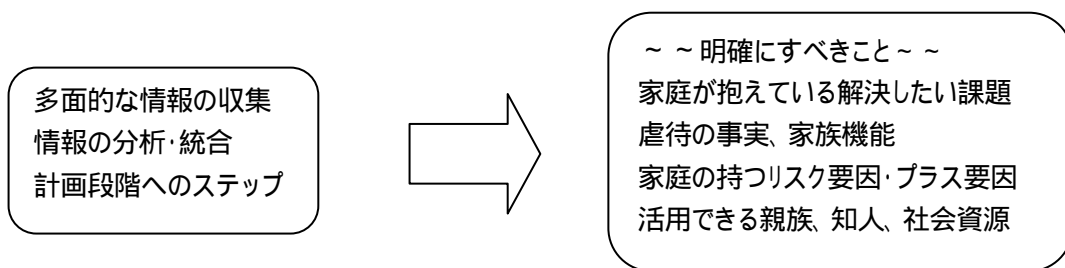


### インテーク

利用者との最初の出会いで、心理的サポートをしながら主訴を聞き、利用者の問題の理解や必要最低限の情報を収集し、今後の方針の見極めを行い、次の段階へ進める大切な入り口である。

### アセスメント

アセスメントは子どもや家庭に関する状況把握や情報収集した結果に基づき、虐待の事実、家族が抱える問題家族の持つリスク要因、プラス要因などを明らかにして、問題解決のための課題や活用できる社会資源を考えて支援計画へと導く一連のプロセス全体のことである。



### アセスメントツール

アセスメントに必要な情報は、広範囲なものになり、特に虐待の要因が重なり合っていたり、支援経過の長かったりする事例では膨大な量となる。情報や課題を整理し支援計画を考えるために各種アセスメントツールとしてジェノグラムやエコマップ、各種アセスメントシート(各種の整理票)をアセスメントの補助手段として活用する。また援助方針・内容の見直しや関係機関との情報共有の際にも役立てることができる。

### リスクアセスメントシート

とくにリスクの評価により、子どもの保護の要否判断する際の補助とする客観的指標を用いたシート。必要な情報の漏れがないよう収集し、判断の誤りを防ぐことがねらいである。また、支援の際の情報整理や課題抽出に用いて、支援計画の立案、方針の見直しや関係機関同士の認識の共有に役立てることができる。

### 支援計画

サービスのゴールを設定し、支援の内容や方針の計画を立てていく。支援の組み合わせ、どこの誰が、いつ、どれくらいの頻度でおこなうのか、具体的に計画する。

### モニタリング

モニタリングとは支援が適切に、計画通りに行われているかを監視する作業である。それらが効果的であるかを支援提供者は支援しながら判断する必要がある。また、ケースマネージャーは各支援提供者や保護者、子どもに直接会うことや電話や会議により確認する。